

琳派展24

抱一に捧ぐ

— 花ひらく 〈^{うげあん}雨華庵〉の絵師たち —

会期 2024年12月7日(土)～2025年2月2日(日)

※一部展示替えあり

江戸琳派を確立した酒井抱一（1761～1828）。姫路酒井家の一員として江戸の大名屋敷で育ちました。20代の頃には肉筆浮世絵美人画を描き、狂歌に親しむなど気ままな青年時代を過ごしますが、37歳で出家して大名家の身分を離れます。50歳を目前にした文化6年（1809）師走、身請けした吉原の遊女とともに移り住んだのが下谷根岸の庵でした。

終の棲家となるこの庵は8年後の文化14年（1817）に「雨華庵」の額を掲げ、以降「雨華庵」と称されます。「雨華庵」は抱一が多数の晩年作を描いた場所であり、その没後は抱一を慕う門下の絵師たちの拠りどころとなりました。

本展は「雨華庵」ゆかりの絵師たちを多角的に蒐集したうげやんコレクションの協力を得て開催される江戸琳派の競演です。同コレクションの江戸琳派作品には稀少な作例も多く、これに細見コレクションから「雨華庵」に纏わる作品を加え展覧します。抱一に憧れ、慕った絵師たち—100年以上に及ぶ江戸琳派の軌跡とその魅力をご堪能ください。



山本素堂 《朱楓図屏風》 江戸後期

— 主な出品作品 —



作品クレジット 左から

- ・酒井抱一 画 小鸞 賛 《紅梅図》 文化7年(1810) 細見美術館蔵
- ・酒井道一 《藤に牡丹図》 明治期
- ・酒井道一 《葛に女郎花図》 明治期
- ・酒井抱祝 《朝桜図》 明治後期～昭和前期

— 展覧会概要 —

*会期・営業日時等を変更する場合があります。最新情報はWEBサイトをご覧ください。

展覧会名称	琳派展24「抱一に捧ぐ一花ひらく〈雨華庵〉の絵師たち」
会期	2024年12月7日(土)～2025年2月2日(日) ※一部展示替えあり
開館時間	午前10時～午後5時
休館日	毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜日)、年末年始(12月26日～1月6日)
入館料	一般 1,800円 学生 1,300円
主催	細見美術館 京都新聞(予定)
特別協力	有限会社うげやん
会場	細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 http://www.emuseum.or.jp
本展連絡先	細見美術館 TEL: 075-752-5555(代) FAX: 075-752-5955(代) 広報担当 大塚 kouhou@emuseum.or.jp

《事前予約不要》混雑時は入場をお待ちいただく場合があります。



展覧会資料(画像)・取材をご希望の方は、[ホームページリリースページ](#)
もしくは左記QRコード「[資料・ご取材申込フォーム](#)」からお申込みください。